

決算質疑

第三セクター会社への支援

問 経営支援は、貸付金とすべきか、指定管理料の増額なのか。資金ショートするということで、指定管理料の増額をした結果、黒字決算となり、法人税を支払える状況だ。

答 この結果をどのようにとらえているのか。

問 全てについて、課題が多くあることは認識しています。それぞれが納得する方法をソフトにやるのか、ハードにやるのかなのですが、ソフトランディングで行ってききました。抜本的な見直しを行っていきます。

ごみ不法投棄

問 タイヤや大型家電等の不法投棄の課題が、各地域で起こっている。町内会長が、自費で処理している例もあり、対策が必要ではないか。

答 相談や、要望があれば、一旦担当部署で確認し、県道や国道の場合は、各管理者（国や県）へ依頼することになっています。

問 また、ごみステーションで残された大型ごみは、基本的には各町内会で処分をお願いしていますが、最終的には市が対応せざるを得ない状況です。防犯カメラ設置により、不法投棄が減るなどの一定の効果がありません。



出前市役所

問 アルクリオ内の出前市役所の家賃に578万円を要している。費用対効果をはじめ、設置の意義は。

答 神戸市では駅に出張所があり、利便性の向上を参考にしながら一番人が集まる場所に設置しました。

問 475件の相談業務やその他受付565件、うちマイナンバーカード申請の受付が425件ありました。

答 環境も変わり、人の流れも変化している。

問 新津名図書館や（仮称）福祉会館への移設も検討すべきではないか。

答 状況の変化は認識しており、移設について検討をします。

道路保安員

問 道路保安員の雇用はともありがたい。地域の高齢化に伴い、道路の草刈り作業などの要望書を出しても期間がかかる状況だと思うが、実施はどうか。

答 実施には1か月以内を目標に着手できるように取り組んでいます。年度当初など、1週間以内に実施可能な時期もありますが、要望書の提出が重なる時期は作業実施に時間を要しました。本年度は、2人増員し10人体制としています。



公共バス事業

問 市公共バス（あわ神あわ姫バス）の利便性向上に向けてどのような取組を行ったのか。

答 バス停の屋根を「淡路高校前」、「津名高校前」、「市役所前」に設置しました。

問 今後も屋根を設置したバス停を増やしていきたいと考えます。

答 また、通学時間帯の臨時便の増便等も委託事業者と協議し、柔軟に対応していきたいと考えます。



国保医療費の削減

問 一人当たりの医療費が減少している。その要因の、分析を行っているか。

答 新型コロナウイルス感染への不安から、医療機関への受診控えをする方が多かったことや、マスクの着用、手洗い、手指消毒などの対策で感染症が減少したことが要因と考えます。

問 受診控えによる疾病の重症化などの報告はなく、医療費適正化対策事業による医療費削減に努めています。

移住、定住サポート窓口

問 移住定住化促進策として、空き家バンク制度を創設し、移住希望者が増加している中で、空き家物件が不足している。

答 希望する地域に偏りがあるなど課題があると思いが、抜本的な改善が必要では。

問 PRによって希望者は年々増加しており、相談件数は令和元年度で1300件、令和2年度では2030件となっています。

答 しかし、空家物件申請数が令和元年で11件、令和2年で25件、令和3年8月末時点で16件と少ない状況です。不動産会社を取り扱っている物件情報やチラシでの周知を図っています。なかなか増えないのが現状です。

水産業振興策

問 水産振興助成金は、具体的にどのような活動に充てられているのか。

答 近年、タコの不漁が続いていますが、鹿之瀬漁場に毎年、タコつぼを投入し、生息地を増やす取組を実施しています。

問 また、ヒラメやマコガレイの種苗放流や、クルマエビの中間育成の活動に助成しています。

答 国の補助金を活用した施肥投入事業の効果は、また、海洋汚染の心配はないか。

問 令和元年から鶏糞を麻袋に入れ、海に投入して栄養補給を試験的に実施しています。関係者による様々な研究がなされています。現在は、海藻などの発育状況を効果検証しています。

イノシシ被害対策

問 有害鳥獣の捕獲対策として、狩猟免許の取得を進めてきた。猟友会の所属状況は。

答 猟友会に所属する方は、市内全体で120人程度です。

問 地区別には、津名43人、岩屋5人、北淡34人、一宮22人、東浦16人の方が活動されています。

答 ICTを利用した捕獲罠導入の現状は、現在、北淡地域で実証実験を行っています。

問 検証した上で、今後、他地域に広げていくかどうか、検討します。

道路愛護活動

問 地域の方に取り組んでいただいているが、活動費用が少額すぎて道路愛護活動が減少しているのではないか。作業実態を考慮するなど、予算を増額して対応すべきと考えるが。

答 市内1767路線をパトロールしています。

問 876路線について、地域での道路愛護活動や道路保安員によって、草刈り等の美化活動を行い、154団体の皆様に事業実施していただきました。予算枠の増額について今後検討していきたいと考えます。

借地解消

問 遊休資産の売却を進めている中で、借地については解消を図っていく方向と認識しているが、現状はどうか。

答 公有財産は決算書で確認できるが、評価額や賃貸借関係も資料として提出すべきでは。

問 借地については解消していく方向で変更はありません。賃貸借関係資料も作成は可能です。

答 評価額については、公会計制度も導入していますが、1年遅れにはなりませんが、ホームページ上で公開を行っています。

